

2026 年 国語入試概要（短大）

【概要】

高校までに培った語彙力、読解力、論理的思考力が総合的に問われる。適切な日本語表現を理解し、現代の論説文を論理的に読み解く力が重視される。

- ・出題分野：現代文のみ。文学作品・古文・漢文は出題されない。
- ・出題構成・形式は各日程とも共通であり、問題形式や難度に大きな違いはない。

【出題形式】

全問マーク方式で、記述式の問題は出題されない。大問は3題で構成されている。

第1問 語句の意味（慣用句、四字熟語、ことわざ、外来語など）：10問

第2問 日本語表現（短文の適否判断、語彙・漢字の使い方など）：5問

第3問 長文読解（約3,500字）：20問

長文読解では、空所補充、内容一致、指示語の内容把握、換言・抜き出し（内容説明）、語句の意味、漢字表記、脱文の挿入位置など、多様な形式の設問が出題される。

【出題内容・傾向と学習へのアドバイス】

第1問 語句・語彙

・出題内容

慣用句、四字熟語、故事成語、ことわざ、外来語など、日常生活や社会で一般的に用いられる語句の意味が問われる。

・傾向

読解問題の土台となる基礎的な語彙力が身についているかを確認する問題であり、確実に得点したい分野である。

・学習アドバイス

高校生向けの語彙集や漢字問題集を活用し、知識が定着するまで繰り返し学習したい。語彙力は大学で専門知識を学ぶ際の基盤となるだけでなく、自分の考えを的確に表現するためにも欠かせない。

第2問 日本語表現

・出題内容

短文について、文法・敬語・語彙・表記などの使い方、対義語・同義語、紛らわしい漢字などが問われる。

・傾向

日常会話と公的な日本語表現との違いや、適切な漢字の使い分け、語彙、送り仮名などに関する知識が求められる。ここも確実に得点したい分野である。

・学習アドバイス

日本語検定の初級・中級レベルの問題集などを活用し、知識が定着するまで繰り返し学習したい。多様性が重視される現代社会においても、公式な場面では状況に応じた適切な日本語表現が求められる。将来、良識ある社会人として行動するためにも、TP0に応じた日本語表現を身につけておきたい。

第3問 長文読解（評論文・論説文）

・出題テーマ

科学、情報、社会、文化、歴史、哲学など、現代社会に関わる幅広いテーマの評論文・論説文が出題される。

・出題意図

現代の評論文・論説文を論理的に読み解く力が重視される。筆者の主張（結論）と、それを支える根拠や具体例を客観的かつ正確に把握する力が求められる。

・読解のポイント

① 筆者の主張と論理構造を把握する

評論文・論説文は論理構造に沿って展開される。各段落の要旨文（中心となる文）を捉え、それぞれが文章全体の中でどのような役割（説明・具体例・根拠・反対意見など）を果たしているのかを意識しながら読むことが重要である。まず、「何について述べているのか（主題）」と、「筆者が最も伝えたいこと（主張・結論）」を把握したい。主張は、「～すべきである」「～と言える」「～しなければならない」などの断定的な表現で示されることが多く、冒頭で提示された問いへの答えとして述べられる場合もある。また、繰り返し登場する専門用語や重要語句（キーワード）には印を付けながら読むと、全体の構成を理解しやすい。評論文では、「自然と文化」「個人と社会」のような対立構造によって議論が展開されることも多い。接続語（「しかし」「したがって」など）や指示語（「これ」「その」など）の働きにも注意しながら、論理の流れを丁寧に追うことが重要である。

② 選択肢を厳密に吟味する

内容一致問題では、「なぜ正しいか」ではなく、「どこが誤っているか」という視点で選択肢を検討したい。本文に戻って一つずつ確認し、消去法を用いることが正答への近道である。

誤りの選択肢には、次のような特徴がよく見られる。

- ・ **拡大解釈型**：本文に書かれていない内容まで含めている。
- ・ **断定型**：本文では限定的・推測的に述べられている内容を断定している。
- ・ **情報不足型**：重要な条件や内容が抜け落ちている。
- ・ **すり替え型**：主語・目的語・因果関係などが本文と異なっている。
- ・ **部分一致型**：大部分は正しいが、一部だけ本文と異なる。

これらのパターンを意識して本文と照合しながら判断する習慣を身につけたい。

③ 文脈から語句の意味を判断する

語句の意味や空所補充では、空欄の前後だけでは判断できない場合もある。その段落全体、さらに本文全体の文脈を踏まえて考えることが重要である。

・時間配分と実践的な学習

長文読解は約 3,500 字と文章量が多く、設問数も 20 問あるため、最も時間を要する。

・ **時間配分**：第1問・第2問は短時間（目安 5～7 分程度）で解き、第3問に十分な時間を確保したい。

・ **問題全体を確認する**：解き始める前に設問全体に目を通しておくと、読む際に着目すべき箇所が分かりやすくなる。

・ **多読を心がける**：新聞の社説、新書、質の高い評論など、多様な文章に日頃から触れておきたい。背景知識が増えるほど文章の理解は速くなり、筆者の論理構成や主張を把握する力も身につく。